

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↗ 66	38	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 46	38	ヘルパンギーナ	↗ 6	4
咽頭結膜熱	↗ 74	68	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↗ 1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 116	119	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 699	705	流行性角結膜炎(はやり目)	→ 9	9
水痘	↘ 83	118	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 61	59	無菌性髄膜炎	↘ 0	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 3	1	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↘ 33	44	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)*	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- A群溶血性連鎖球菌感染症
- 水痘

- 感染性胃腸炎 報告数: 699件(前週: 705件) 地区別: 菊池, 山鹿, 有明 年齢別: 1歳 120件(17.2%)
- A群溶血性連鎖球菌感染症 報告数: 116件(前週: 119件) 地区別: 宇城, 菊池, 熊本市 年齢別: 10~14歳 25件(21.6%)
- 水痘 報告数: 83件(前週: 118件) 地区別: 菊池, 山鹿, 人吉 年齢別: 2歳 19件(22.9%)

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	28	7	25	53	146	17	21	3	9	0	2	1		9						
山鹿保健所	1	1	0	0	46	7	0	0	1	0	0	0	*	*						
菊池保健所	2	19	42	27	187	26	21	0	9	0	1	0								
阿蘇保健所	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	*	*						
御船保健所	0	0	0	0	6	1	0	0	0	0	0	0	*	*						
八代保健所	0	5	2	6	72	3	2	0	4	0	0	0								
水俣保健所	0	4	2	0	6	0	0	0	1	0	0	0	*	*						
人吉保健所	0	0	0	5	44	8	7	0	4	0	0	0	*	*						
有明保健所	26	0	0	1	112	7	7	0	3	0	0	0								
宇城保健所	1	4	2	22	48	4	2	0	0	0	0	0	*	*						
天草保健所	8	6	1	2	31	10	1	0	2	0	3	0								
計	66	46	74	116	699	83	61	3	33	0	6	1	0	9	0	0	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上
インフルエンザ	66		1	1	3	4	4	5	5	6	4	4	13	3		3	6	1		2	1
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20以上						
RSウイルス感染症	46	7	7	23	7	2															
咽頭結膜熱	74		3	11	11	12	12	7	8	4	3	1	2								
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	116			3	5	15	15	12	17	14	7	25	1	2							
感染性胃腸炎	699	8	43	120	83	65	53	69	44	43	29	20	62	14	46						
水痘	83		4	17	19	18	7	9	4	3		1	1								
手足口病	61		2	10	18	15	8	2	4	2											
伝染性紅斑	3								2		1										
突発性発しん	33		19	12	2																
百日咳	0																				
ヘルパンギーナ	6	1		2	1		2														
流行性耳下腺炎	1					1															
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上	
急性出血性結膜炎	0																				
流行性角結膜炎	9						1						1	1	3	2				1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上				
細菌性髄膜炎	0																				
無菌性髄膜炎	0																				
マイコプラズマ肺炎	0																				
クラミジア肺炎	0																				
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																				

大きな流行が発生
又は継続しつつある地域

- 咽頭結膜熱 : 菊池
- 手足口病 : 菊池
- 感染性胃腸炎 : 菊池、有明、山鹿
- 水痘 : 菊池

感染性胃腸炎とインフルエンザは冬が流行シーズンであり、かかる症状がつらく、高齢者や小さなお子さんでは重い症状になることもある怖い病気です。それぞれの予防対策はもちろん、バランスの取れた食事や十分な休養をとって体力をつけ、冬のつらい感染症を予防して楽しい年末年始を過ごしましょう。

インフルエンザ&
感染性胃腸炎に
ご注意ください

【感染性胃腸炎】
今週の感染性胃腸炎の報告は699件と、増加傾向はいつの間にか止まっている状況ですが、地域別にみると菊池、山鹿、有明が依然として警報レベルを超えています。例年この時期は感染性胃腸炎の発生が最も多くなる時期であり、今後の感染拡大に注意が必要です。引き続き1人1人がこまめな手洗いなどの予防対策をしっかりと行い、感染の拡大を防ぎましょう。高齢者や乳幼児の施設では、嘔吐物やふん便の適切な処理など十分な感染予防対策をとりましょう。

【インフルエンザ】
今週のインフルエンザ報告数は66件と、1週間ではほぼ2倍に増加し一定点当たりの報告数が増え、インフルエンザ流行開始の目安に近づいています。県内では例年12月末からインフルエンザの流行が始まり、あつという間に大勢の方がインフルエンザにかかってしまいます。インフルエンザの予防には、①インフルエンザワクチン、②帰宅時や調理の前後、食事前などこまめな手洗い、③咳エチケット、が有効です。インフルエンザワクチンは接種して2週間後から予防効果があらわれますので、12月中旬までに接種を行いましょう。この時期から予防対策を徹底し、今年の冬はインフルエンザの感染を防ぎましょう。

